

メールによる情報漏洩を防止するための  
Outboundメールの制御機能

Total E-mail Security Solution SPAM WATCHER

---

© 2009 DAOUTECH CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.

本書の内容は予告なく変更されることがあります。Daou Techから発行したすべてのテクニカル文書の著作権はDaou Tech Inc.にあります。

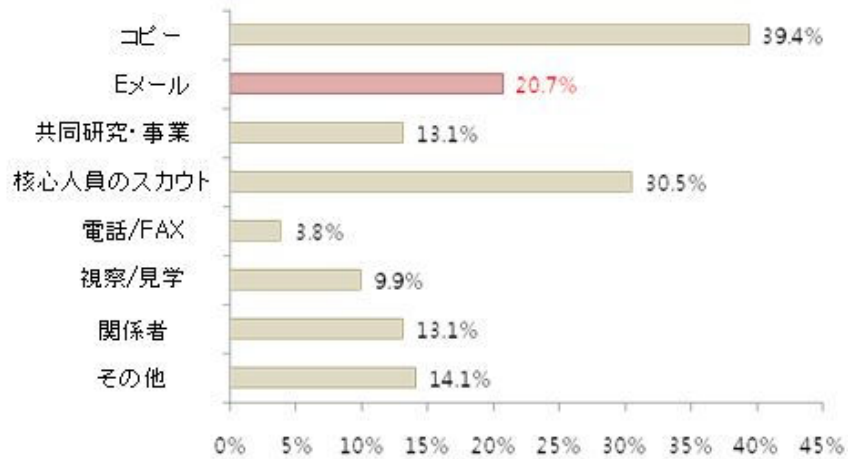
Daou Tech Inc.の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

## EメールのOutbound制御の必要性

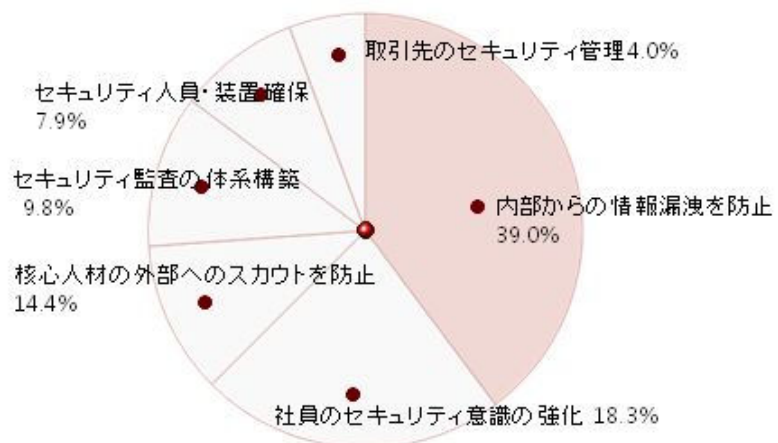
既に、Eメールは個人の業務及び、外部との協業において、重要なアプリケーションになっています。企業において、Eメールシステムは単純なコミュニケーションの手段を超え、ファイルを転送するのに一番重要なツールであり、一般企業のビジネスデータの中70~80%がEメールでやりとりをされています。

Eメールの重要度が高まるにつれ、メールを通じてスパムメール、ウイルスなど外部からの脅威を受け続けています。スパムメール技術はさらに巧妙化し、日々新たなスパムメールが出現しています。そのため、スパム対策やウイルス対策のようなインバウンドのメールセキュリティは持続的に重要視されており、コモディティ化されています。しかし、最近では、メールを通じた企業の内部情報漏えいが重要な問題になり、企業の知的財産権を保護するためにメールのアウトバウンド対策に関心が高まっています。

[内部情報漏洩の経路]



[内部情報漏洩保護のため、重要視する業務]



(資料: 韓国中小企業庁)

## メールを通じた企業の情報漏洩の被害事例

---

次の事例のように、Eメールを通じた内部情報漏洩の事件は企業の信頼を失うとともに莫大な損失を招きます。

### 社員による悪意的な内部情報の漏洩

会社の営業・技術資料などの秘密情報を外部又は、競合社に渡された場合、会社は信頼を失い、莫大な損害が発生します。

事例: A社の退職社員と現社員達はEメールとインターネット上のWeb Folderを利用してP社の重要な技術情報を外部へ持ち出そうとした事件がありました。A社はすでに数百億円をこの重要な技術に投資しており、80億円相当を追加投資する計画でした。この技術は最新の無線のWIFIに関する技術情報で、仮に海外の競合他社に漏洩された場合、1兆5千億円相当の損失額が予想される事件でした。

### 誤操作による内部情報漏洩

社員のミスにより、お客様のパスワード、クレジットカード情報などをEメールを通じて情報漏洩する可能性があります。

事例: B銀行の行員Cさんは休眠口座を整理する業務を行っていました。過去3年間に渡り、取引の無いお客様へEメールで口座を閉じるためのご案内を送りましたが、誤って対象のお客様リストを添付した状態でメールを送信してしまいました。お客様リストの中には、お客様名、メールアドレス、口座番号が含まれており、これにより、個人情報漏洩した被害者らは裁判所に訴え、1年6ヶ月間、訴訟を続けた結果、B銀行は個人情報を漏洩した対象のお客様へ賠償した事例があります。

### 企業イメージの損失

最近、メールアカウントの公開などにより、メールサーバに悪意的なウェブスクリプトが埋め込まれたり、メールアカウントのspoofingなどにより、外部へのOutboundメールがスパム・ウイルスメールの加害者になるケースがあります。この場合、企業イメージに悪影響を与える可能性があります。

上記の事例のように企業は知的財産権を保護すると共に、メールによる情報漏洩対策のソリューションを構築、管理する必要があります。

## Total E-mail Security Solution SPAM WATCHERとは?

---

SPAM WATCHERはスパム対策からアウトバウンドメール対策までメールを通じて発生する様々な問題を一度に解決し、制御する「Total E-mail Security Solution」です。またメールによりネットワーク上に発生する問題点を把握して、自分自身を防御できる機能を持っています。

SPAM WATCHERの主要特長は次の通りです。

### 卓越した性能

- 累計6000万メールボックス、80億件(1ヶ月)以上のメッセージを処理する最高のソリューション
- 日本と韓国で取得したスパム遮断特許技術

### 強力なセキュリティ

- メールによる情報漏洩防止対策
- SMTP Over SSL/TLSサポート
- フィッシングDBによるフィッシングメール遮断
- SMTP及びDoS攻撃遮断

### メールによる情報漏洩を防止

- In/Outboundメールをモニタリング及び、フィルタリング
- 送信メールの添付ファイルの暗号化、送信メールの一時保留機能

### 容易な運用

- 誰でも簡単に設置/運用が可能
- 複数の管理者設定が可能/管理者別に権限設定可能
- スパム/ウイルス/フィッシングフィルタのライブアップデート
- ユーザ毎のフィルタ設定及び遮断メール確認

### 最高の安全性

- Bypass Card搭載によりハードウェア障害時にもメール転送可能
- プロセス監視及び自動復旧機能
- プロセス停止なしで、各種フィルタをライブアップデート

## SPAM WATCHERのOutboundメールの制御機能

---

SPAM WATCHERは情報漏洩防止機能及び、内部から外部へメールを送信する際に添付ファイル付のメールに関しては添付ファイルの暗号化、送信メールの一時保留機能を実現することによって、アウトバウンドメールに対するメールセキュリティをより強化しました。

統合メールセキュリティソリューションであるSPAM WATCHERは次のようなアウトバウンド機能を提供します。

## 情報漏洩防止

送受信されるメール中、主な情報を含むメールに対するルールを設定してフィルタリングすることができます。フィルタリングされたメールをモニタリングすることで、情報漏洩を防止できます。但し、メールモニタリングは個人のプライバシー保護のため必ず使用者の同意が必要ですのでご注意ください。

- **情報保護フィルタ設定**

受信メールの本文(Contents)に特定の文字列やキーワードを含む場合に該当メールをフィルタするためのルールを設定できます。一般文字列のみではなく正規表現式を利用して様々な条件を作成できます。

- **フィルタリングされたメールの処理方法の設定**

管理者はフィルタリングされたメールをどのように処理するかを設定することが可能です。フィルタリングされたメールを処理する方法は次の通りです。

特定フォルダに保管/送信/特定メールアドレスに転送/送信/特定フォルダに保管/特定メールアドレスに転送

- **情報漏洩モニタリング**

情報保護フィルタによって検出されたメールは管理者が指定したフォルダに保管する事ができます。特定フォルダに保管されたメールをモニタリングして、情報漏洩の内容と送信者の特定が可能です。

## 添付ファイルの暗号化

SPAM WATCHERは添付ファイル付メールを送信する際に、安全に送信するため、添付ファイルを圧縮し、暗号化して送信します。

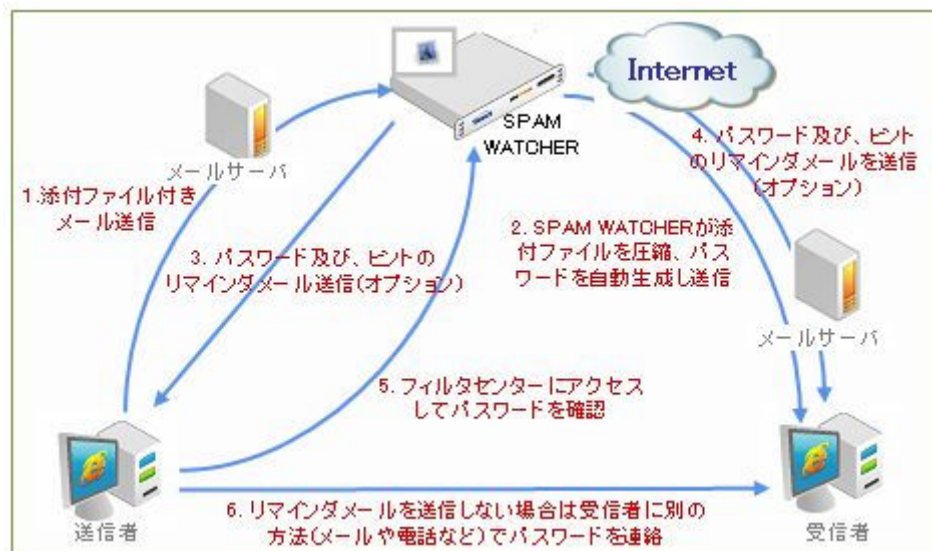


図 1. 添付ファイルの暗号化

- **添付ファイルの暗号化**

添付ファイル付きメールを送信したら、SPAM WATCHERは添付ファイル付きメールを圧縮し、パスワードを自動生成し送信します。受信者は送信者から別の方法(メールや電話など)で取得したパスワードを入力して、添付ファイル付きのメールを確認します。

また、添付ファイルの暗号化は自動で行われますので、添付ファイル付きメ

ールのうっかりミスを抑制することが可能です。

- **リマインダメールの送信**

添付ファイル付きメールが暗号化されて送信されたらSPAM WATCHERはパスワードとヒントのリマインダメールを送信者又は受信者に送信します。パスワード又はヒントメールは別途、リマインダメールとして送信され、もし、第三者に誤送信された場合でもパスワードが分からなければメールを確認することができないため、アウトバウンドメールに対するセキュリティ強化に役立ちます。

リマインダメールの受信対象は管理者の設定により、送信者、受信者、送信者+受信者に設定することが可能です。

- **添付ファイルの暗号化対象の設定**

添付ファイルメールの暗号化管理対象はすべての添付ファイル、ドキュメントファイル、圧縮ファイル、その他、管理者が指定したファイルを選択して設定することが可能です。

- **添付ファイルメールの管理対象の設定**

添付ファイル付きメールの管理対象を内部/外部ドメインをすべて適用するかどうか、外部ドメインのみ管理するのかを設定することが可能です。

## 送信メールの一時保留設定

送信者が間違っ、メールを送信した場合、誤送信を防止するために送信メールの一時保留を設定します。

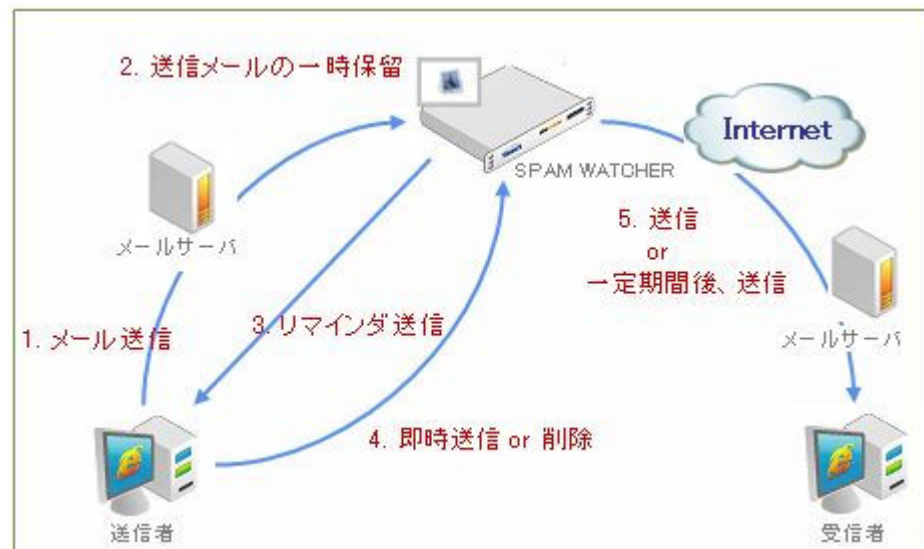


図 2. 送信メールの一時保留

- **送信メールに対して、一時保留設定**

管理者が送信メールに対して、一時保留設定を行ったら、送信者はメールを送信してもメールはすぐ受信者に送信せず、設定した一定の保留時間の間SPAM WATCHERが送信メールの一時保留を行います。送信者は受信

者を再度確認した後、メールを送信するか削除することが可能です。

- **リマインダメールの送信**

送信者がメールを送信したら、SPAM WATCHERは送信メールの一時保留のリマインダメールを送信者に送信します。送信者はリマインダメールから該当のメールを即時送信または、削除することが可能です。リマインダメールには受信者情報が表示されており、該当メールが間違った受信者に送信されることを防止することが可能です。

- **送信メールの一時保留時間の設定**

管理者は送信メールに対して、送信保留時間を最小1分から最大60分に設定することが可能です。

### フィルタセンターにてOutboundメールのセキュリティ設定及び、確認

ユーザはフィルタセンターにてOutboundメールセキュリティの基本設定ができ、Outboundメールの一時保留メールのステータスを確認することができます。

- **Outboundメールのセキュリティ基本設定**

管理者がOutboundメールのセキュリティ設定をユーザ設定権限を「使用」に設定した場合、ユーザはシステム管理者の設定と関係なく、Outboundメールのセキュリティ設定をフィルタセンターで設定することが可能です。

- **Outboundメールの一時保留メールステータス確認**

送信者は送信したメールについて、一時保留中のメール又は、送信完了のメールを確認することが可能です。

#### お問い合わせ

ダウジャパン株式会社

〒105-0013

東京都港区浜松町2-12-11中村ビル4階

Tel:03-5402-3675 Fax:03-5402-3676

<http://www.daou.co.jp>